

第7回 令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会

日時：令和8年3月17日（火）14:30～

場所：能登復興事務所（対面＋Web 併用）

議事次第

1. 開会

2. 委員紹介

3. 規約

4. 議事

報告事項

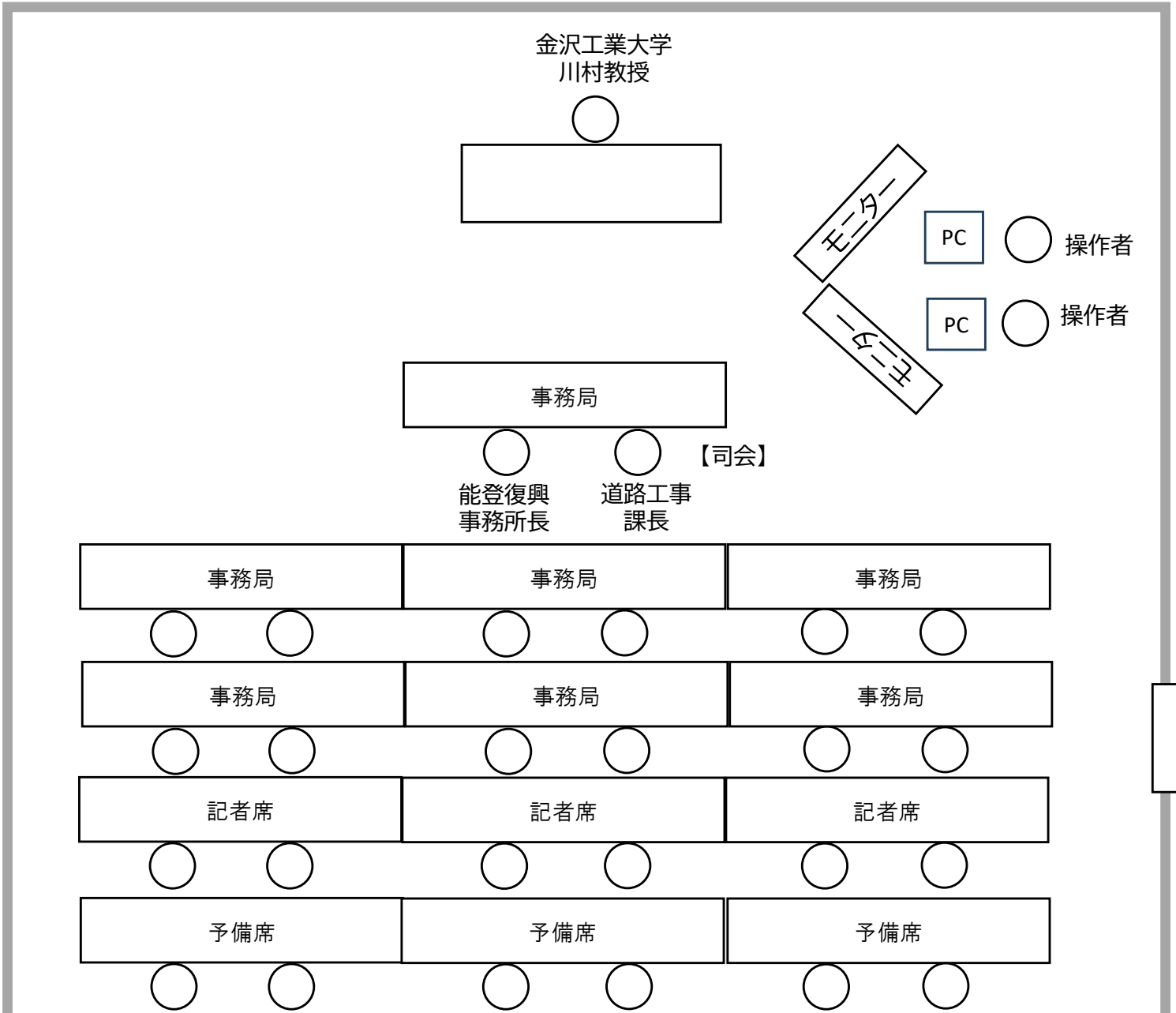
（1）国道249号 大規模崩落5箇所を進捗状況について

（2）国道249号 被災橋梁の復旧方法について

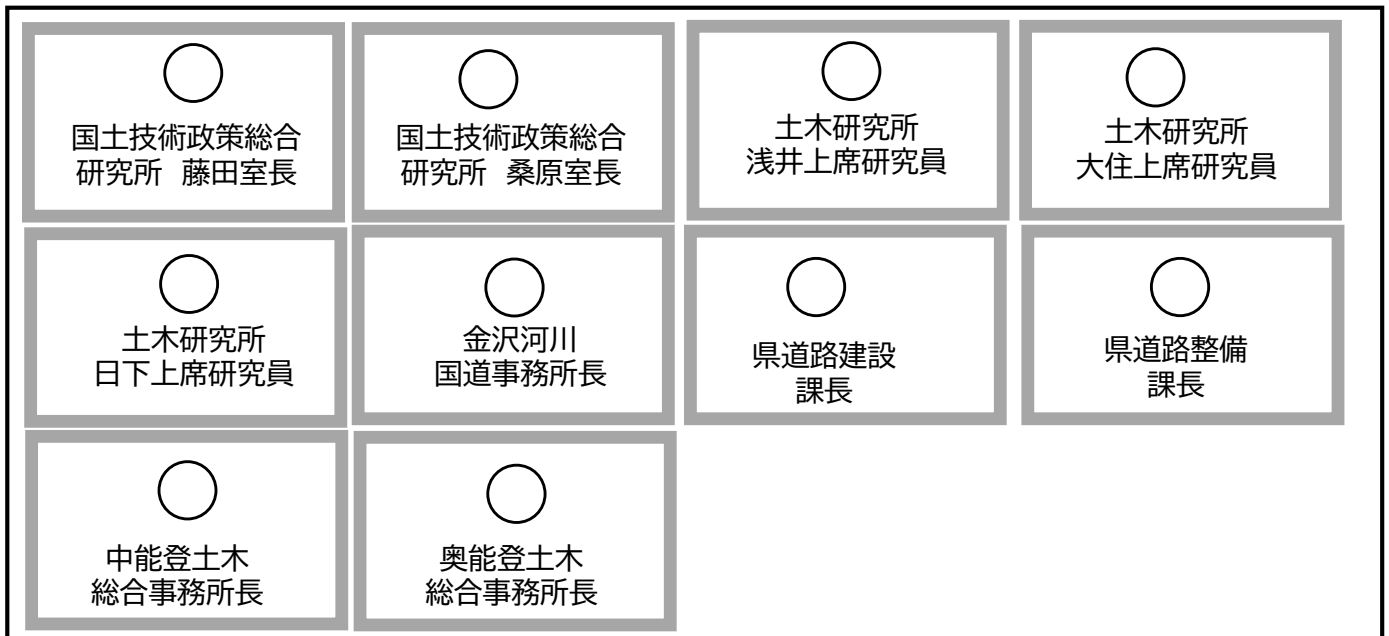
5. 閉会

会場配席図

4F 会議室



リモート参加



令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会 出席者名簿

(敬称略)

| 所属・役職 | 氏名 | 備考 |
|---|--------|------------------------|
| 金沢工業大学 金沢工大附置研究所 地域防災環境科学研究所 教授 | 川村 國夫 | 防災工学、トンネル、地盤災害、基礎・地盤工学 |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長 | 白戸 真大 | 橋梁全般 |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長 | 藤田 智弘 | 道路基礎、トンネル |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 | 桑原 正明 | 道路土工 (斜面、法面等) |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長 | 岡田 太賀雄 | 道路地震防災 (リスクアセス等) |
| 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員 (特命事項担当) | 浅井 健一 | 土砂崩壊・地質 |
| 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員 | 石原 雅規 | 盛土構造 (土質等) |
| 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター (CAESAR) 橋梁構造研究グループ 上席研究員 | 大住 道生 | 橋梁耐震 |
| 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員 | 日下 敦 | トンネル全般 |

○

(欠席)

(欠席)

(欠席)

○：委員長

事務局

| |
|------------------|
| 北陸地方整備局道路部道路工事課 |
| 北陸地方整備局道路部道路管理課 |
| 北陸地方整備局金沢河川国道事務所 |
| 北陸地方整備局能登復興事務所 |
| 石川県土木部道路建設課 |
| 石川県土木部道路整備課 |
| 石川県中能登土木総合事務所 |
| 石川県奥能登土木総合事務所 |

令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会 規約

(名称)

第1条 本委員会は、「令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会」（以下「委員会」という）と称する。

(目的)

第2条 委員会は、令和6年能登半島地震にて甚大な被害を受けた能越自動車道輪島道路・穴水道路及び直轄権限代行区間等の早期復旧に向けた対策について、専門的な学識経験等に基づき、技術的な検討・助言することを目的とする。

(検討事項)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる検討・助言を行うものとする。

- 一 平成19年度能登半島地震で被災した箇所の対策検証
- 一 被災状況及び再度災害防止を踏まえた復旧方法の検討（大規模崩落・崩壊箇所について、現位置復旧の可否、別線ルート検討区間の選定、適用基準や仕様）
- 一 復旧工事にあたっての技術的な助言
- 一 その他、委員会の目的を達成するために必要な事項

(委員会の組織構成)

第4条 委員会は、震災における道路復旧技術等の実情に精通し専門的な知識を有する公平な立場にある学識者等で構成する。

- 2 委員会には委員長を置く。
- 3 委員長は、構成員の互選によりこれを定める。
- 4 委員長は、委員会の会務を処理し、委員会を代表する。
- 5 委員長に事故のあるときは、あらかじめその指名する構成員がその職務を代行する。
- 6 委員長は、必要があると認めるときには、構成員以外の者に対し、委員会に出席してその意見を述べ、又は説明を行うことを求めることができる。
- 7 委員長は、必要があると認めるときには、個別課題に対して検討の場を設けることができる。その場の構成員は、課題に応じて、委員会構成員内外の者より、委員長が任命する。

(委員会の開催)

第5条 委員会は委員長が招集する。

- 2 委員会は構成員の半数以上の出席をもって行うものとする。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、北陸地方整備局道路部道路管理課、道路工事課、金沢河川国道事務所、能登復興事務所並びに石川県土木部道路建設課、道路整備課、中能登土木総合事務所、奥能登土木総合事務所に置くこととし、その庶務は、北陸地方整備局道路部道路工事課において処理する。

(雑則)

第7条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会 構成員

(敬称略)

| 所属・役職 | 氏名 | 備考 |
|---|--------|----------------------------------|
| 金沢工業大学 金沢工大附置研究所 地域防災環境 科学研究所 教授 | 川村 國夫 | 防災工学、トンネル、 地盤災害、基礎・地盤 工学 ○ |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長 | 白戸真大 | 橋梁全般 |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長 | 藤田 智弘 | 道路基礎、トンネル |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 | 桑原 正明 | 道路土工 (斜面、法面等) |
| 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長 | 岡田 太賀雄 | 道路地震防災 (リスクアセス等) |
| 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員 (特命事項担当) | 浅井 健一 | 土砂崩壊・地質 |
| 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員 | 石原 雅規 | 盛土構造 (土質等) |
| 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター (CAESAR) 橋梁構造研究グループ 上席研究員 | 大住 道生 | 橋梁耐震 |
| 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員 | 日下 敦 | トンネル全般 |

○：委員長

事務局

| |
|------------------|
| 北陸地方整備局道路部道路工事課 |
| 北陸地方整備局道路部道路管理課 |
| 北陸地方整備局金沢河川国道事務所 |
| 北陸地方整備局能登復興事務所 |
| 石川県土木部道路建設課 |
| 石川県土木部道路整備課 |
| 石川県中能登土木総合事務所 |
| 石川県奥能登土木総合事務所 |